



【5年で売れたビジネス書はコレ！】編集部おすすめの1冊～ランキング番外編～



ハイブリッド型書店サービス「honto（ホント）」の協力のもと、ビジネス書のランキングを毎月お届けしている本コーナーのランキング編。今年5月17日にサービス開始から5周年を迎えるhontoから、この5年間の売上データを元にしたビジネス書ランキングが届いた。

＜5年間総合売上書籍ランキング／ビジネス書部門＞

ランキングタイトル／著者／出版社第1位嫌われる勇気（自己啓発の源流「アドラー」の教え）岸見一郎、古賀史健／ダイヤモンド社第2位聞く力 心をひらく35のヒント

（文春新書）阿川佐和子／文藝春秋第3位伝え方が9割

1佐々木圭一／ダイヤモンド社第4位スタンフォードの自分を変える教室 ケリー・マクゴニガル（著）、神崎朗子（訳）／大和書房第5位思考の整理学

（ちくま文庫）外山滋比古／筑摩書房第6位できる大人のモノの言い方 大全 LEVEL1 話題の達人倶楽部編／青春出版社第7位まんがでわかる7つの習慣

1小山鹿梨子（まんが）、フランクリン・コヴィー・ジャパン（監修）／宝島社第8位統計学が最強の学問である データ社会を生き抜くための武器と教養 西内啓／

ダイヤモンド社第9位生き方 人間として一番大切なこと 稲盛和夫／サンマーク出版第10位里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く（角川新書）藻谷浩介／KADOKAWA

honto調べ（集計期間：2012年5月17日～2017年4月5日）

1位から10位までを見てみると、コミュニケーションを円滑にするための本や自分の考え方や行動を変えるきっかけとなる自己啓発本が目立つ。テクニカルな実務書よりも、人間関係や人生に悩むビジネスパーソンに向けた本には普遍性があり、多くの人に響くのだろう。ランキングには「アドラー心理学」や「スタンフォードの〇〇」、「7つの習慣」といった時代のブームを反映したキーワードが並びながらも、結局、人の悩みは人間関係や生き方に尽きるようだ。そんな中で、変わらずのロングセラー、1986年に刊行された「思考の整理学」が第5位にランクインしているのは要注目だ。大量の情報が日々行きかう時代、そして誰もが簡単に発信者になれる時代だからこそ、本著でいう「グライダー人間」でなく「飛行機人間」が持つ自ら考える力がより切実に問われているのかもしれない。さすがにベストセラーが並ぶランキングとなったが、既読本だったとしてもこの機会にぜひ本棚から引っ張り出して、改めて読みなおしてみしてほしい。以前とはまた違った気づきや忘れていた何かを得られるはずだ。

まとめ：M&A Online編集部

【関連リンク】その他の「編集部おすすめの1冊」はこちら